

まちの目記帳



ケーキ作りで親交深め 積丹町女連協交流会

3/15

積丹町女性連絡協議会（戸来和子会長）の交流会が総合文化センターで開催されました。

今回の交流会は美国婦人会の佐々木由美子さんを講師に迎え、積丹町内で収穫したかぼちゃなど身近な素材を使用したスポンジケーキやかぼちゃタルトなどのケーキ作りを行いました。

ケーキ作りは美国・野塚・余別の各婦人会から計20名が参加。普段から台所で料理をされている皆さんはとても手際が良く、歓談を交えながらの和やかな交流会となりました。



もっと知りたい私達の海 積丹の海が知りたい！講演会

3/23

「積丹の自然を愛する会」主催の講演会が総合文化センターで行われました。

幌武意地区でダイビングショップを営む藤田尚夫さんによる積丹の海にすむ生物や生態、ダイバーならではの経験話をした「積丹の海を知りたい！」や、酪農学園大学の郡山尚紀教授による「アフリカ・タンザニアのお話」などの内容で、参加した約30名の方々はとても関心を持って講演に聴き入っていました。

また、藤田さんと積丹の海が紹介されている『北の海獣たち・和田一雄 著』が町へ寄贈され、文化センター図書室でご覧になれます。



今年も華やかに開催！ 第21回きさらぎ会「おさらい会」

3/23

きさらぎ会（河岸栄子会長）が主催する「おさらい会」が積丹町総合文化センターで開催されました。

発足以来毎年行っている「おさらい会」は今年で21回目を数え、町民の皆様にもおなじみとなっています。

プログラムは2部構成となっており、河岸会長のあいさつの後に幕を開けた第1部は「菊つくし」や「おせん」など全7曲が披露されました。

第2部は、「祇園の夜桜」や大正琴の演奏などを披露、華やかな衣装を身にまとった出演者のパフォーマンスにこの日を楽しみに訪れた約100名の観客からは大きな拍手が送られていました。



みんな仲良く新生活！ びくに・みなと保育所入所式

4/1

4/2

びくに保育所の入所式が1日に、みなと保育所の入所式が2日に行われ、それぞれ15名と8名の園児が入所しました。

お母さんに付き添われて元気に登園した園児達。式では、坂野保育所長のお話と先生の紹介の後、園児一人ひとりの紹介が行われ、照れながらも元気に返事をする子供たちの様子を出席したお母さんたちは嬉しそうに見守っていました。

▼びくに保育所



みなと保育所▲

故郷の思い出話に花咲かせ 札幌しゃこたん会総会

4/5

札幌市とその近郊に住む積丹町出身者で平成8年に設立された札幌しゃこたん会（大沢哲会長：会員87名）の総会が札幌市内で開かれました。

総会では大沢会長のあいさつに続き、松井町長が日頃の町政運営やふるさと納税寄附金などのご協力に感謝を述べ、町の近況などを報告しました。

また役員改選で14年間会長としてご尽力いただいた大沢哲さん（美国町出身）から三上初夫さん（日司町出身）へバトンタッチされました。

総会後に行った交流会では久々の仲間との再会を喜び、思い出話に花を咲かせました。カラオケや積丹町の名物が当たる抽選会などのアトラクションで楽しみ、最後は万歳三唱で再会を誓い同郷の仲間たちとの別れを惜しみました。



いよいよ今年もシーズン到来！ 観光施設次々とオープン

4/18

4/20

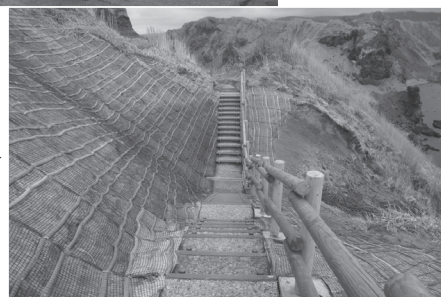
4月18日木曜日、(株)積丹観光振興公社（杉山覚社長）が運行する水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が執り行われ、4月20日から始まる運行での無事故を祈りました。杉山社長はあいさつの中で「好調だった昨年に続き、今年は円安の影響による国外からの観光客を期待したい。」と述べ、新年度の営業に向けて気持ちを新たにしていました。

また、平成23年9月より通行止めとなっていた神威岬の遊歩道も同じく4月20日より再開し、これからの観光シーズンを迎えるための準備が着々と整っています。



水中展望船
安全祈願祭

神威岬遊歩道が
復旧再開 ▶



まちの日記帳